

バレル研磨排水・全量精密ろ過装置

Ostle

オストル

1台5役で、省スペース、省エネルギー、省資源を実現!
排水量増加時も簡単増設



Tipton Corp.

一台5役
省スペース!
省エネルギー!
省資源!を確立

Feature (特長)

Point1 省スペース (従来製品の1/5スペースを実現)

Ostleが物理処理(凝集沈澱、加圧浮上、ろ過、脱水など)の5役を1台に集約。必要なのは、化学処理(前処理)とOstleだけです。

Point2 省エネルギー (従来製品より大幅なコストダウン)

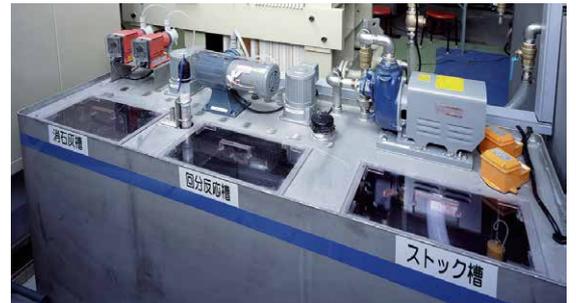
Ostleはろ過ポンプ1台のみの動力であり、他の物理処理に必要な多くの機器(攪拌機、送水ポンプ、真空ポンプユニット、脱水機など)が不要になり、維持管理やメンテナンスも簡単楽々。

Point3 省資源 (従来製品より薬品使用量が激減)

Ostleは凝集剤、沈澱促進剤、ろ過助剤が一切不要。よって、薬品が少なければ、そのコストと共にスラッジ量も減少し、産廃コストの削減にも直結します。

Point4 排水量増加時も簡単増設

Ostleは、ろ板セットとサイドバーを購入すれば、簡単に排水処理能力を増強可能とします。



従来の凝集沈澱式では必要な、高分子凝集剤凝集槽、凝集沈澱槽がOstleでは不要となります。

Application (用途)

●バレル研磨排水以外にこんな排水にも効果的

塗装排水

化成処理排水

酸・アルカリ排水

ダイカスト離型剤排水

メッキ

アルマイト

セラミックス

フェライト

タイル

サイディングボード

切断排水

etc

Data (データ)

処理原水

SS... 1500ppm
COD... 200ppm
N-Hx... 15ppm

Ostle

処理後

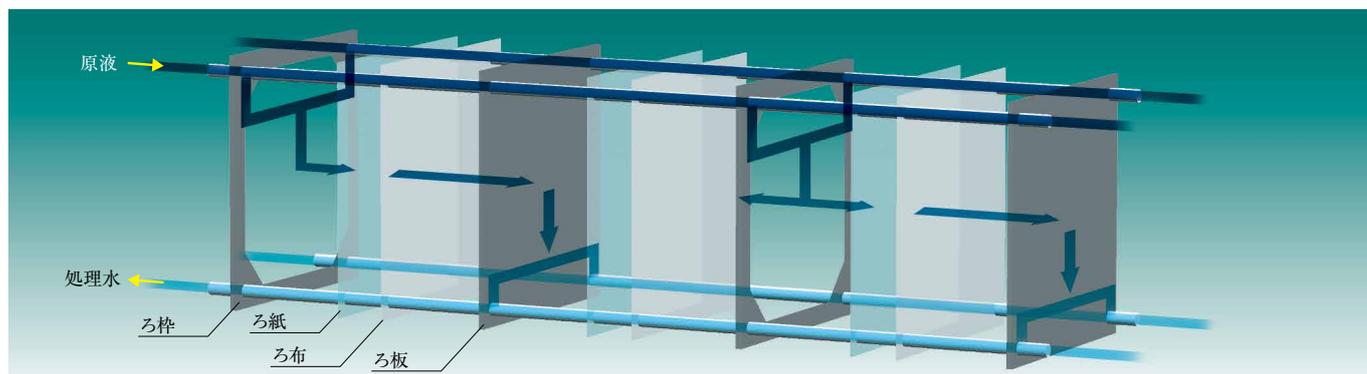
SS... 20ppm
COD... 20ppm
N-Hx... 5ppm

※バレル研磨条件により原水は異なりますので1つの参考目安としてください。

クリーンな環境づくりは人類永遠の課題

チップトンはクリーンな環境を提供します。

Structure (構造)



Ostle内部の構造と液の流れ

脱水機

- ろ紙ろ過のため、ろ紙ごと廃棄するのでケーキ取り出しが簡単。
開枠毎に交換
- ろ布の目詰りが無く、ろ布交換は基本的に不要。
年1~2回程度の交換サイクル



Performance (性能)

全量ろ過方式

原水濃度変化に影響されず処理水が安定しています。(濃厚液にも安定対応)

※精密ろ過のため、ろ液からスラッジの流出もありません。

バレル排液の特長と処理ポイント

バレル排液は、研磨作業の工程上、排液の濃度が安定せず、排液中のSS濃度も高いという特長があります。バレル研磨機を多くご利用の場合でも水質の平均化が図れそうなのですが、バラツキが多く、一般的には原水槽を大きく取り、水質の安定化を図る方法を取ります。その際SS濃度が高いことで槽内にSS分が沈降し、そのメンテナンス(清掃)が重労働となっているわけです。すなわち、濃度の安定しない排液をどう処理するかが重要となります。

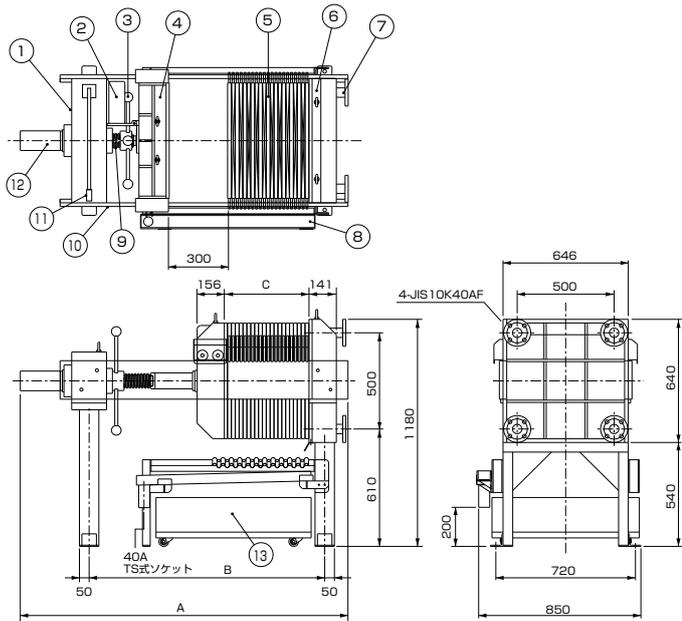
バレル排液は、放流規制対象となるpH、BOD、COD、ノルマルヘキサン抽出物(油分)、SS(もともと含有されているスラッジ及び化学処理にて発生するスラッジ)を中和、除去するために、

1. 経験と実績に基づいた化学処理(中和処理)
2. 排水全量をろ過して処理水質を安定させる物理処理(固液分離)

この2つのブロックに構成され処理します。

排水処理量に合わせて選べる4タイプ

■ Ostleシリーズ仕様



※型式:600角×ろ室数となっており、600シリーズは60室まで装着できます。
 ※仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

型式	PFH4010	PFH6005	PFH6010	PFH6015
処理量	0.5m ³ /日	0.7m ³ /日	1.5m ³ /日	2m ³ /日
室数	10室	5室	10室	15室
A	mm	1325	1490	1690
B	mm	925	1015	1215
C	mm	362	220	420
ろ過面積	m ²	2.0	2.5	5
ろ室容量	リットル	20	25	50
処理能力	m ³ /hr	0.30	0.37	0.75
本体重量	kg	300	650	750
850				

No	品名	備考
1	リアヘッド	
2	締付軸受	
3	締付ハンドル	
4	ルーズヘッド	
5	ろ板・ろ枠	
6	ファーストヘッド	
7	出入口フランジ	JIS10K40AF
8	排出溝	40A TS式ソケット
9	締付軸	
10	サイドバー	
11	手動油圧ポンプ	
12	油圧シリンダー	
13	ケーク箱	

※処理能力は清水基準を示します。
 (バレル研磨条件により排水中のスラッジ量が異なる為、実際の処理能力が表示と異なる場合があります)

■ PFA (パラオートフィルター)



全自動タイプもございます。
 ※全量ろ過で水質が安定しているため無人運転が可能。



■ 環境ISOをサポートする カスポンクリーナー



カスをボン!と捨てられる。

圧縮エアで作動し、簡易移動式。

- スラッジの脱液処理
- 液中掃除で液の寿命を延長

※工作機械のクーラント液、ろ過用としてまた、その他カートリッジフィルターとしての代替に最適です。



本 社 名古屋市南区豊田3-19-21 〒457-8566 TEL 052(692)6666(代) FAX 052(692)9445
 飛 鳥 工 場 愛知県海部郡飛鳥村大宝3-25-1 〒490-1438 TEL 0567(56)7500(代) FAX 0567(56)7513
 東京営業所 東京都豊島区西巣鴨1-15-15 〒170-0001 TEL 03(6696)0633(代) FAX 03(6696)0636
 本社営業所 名古屋市南区豊田3-19-21 〒457-8566 TEL 052(692)7175(代) FAX 052(692)0249
 大阪営業所 大阪府吹田市南吹田5-19-12 〒564-0043 TEL 06(6190)1800(代) FAX 06(6190)1807
 広島営業所 広島県広島市東区光町1-12-16広島ビル4階 〒732-0052 TEL 082(534)2031(代) FAX 082(534)2033
 テトロイト事務所 28317 Beck Road Suite E-14 Wixom, MI USA 48393 TEL +81-90-7698-8473
 (株)チップトン富山 富山市金山新107 〒930-2206 TEL 076(435)1281(代) FAX 076(435)1282
 品質に関するお問い合わせは品質保証室へ TEL 0567(56)7503(直) FAX 0567(56)7516
 設備のメンテナンスに関するお問い合わせはエンジニアリング課へ TEL 0567(56)7504(直) FAX 0567(56)7514
 ホームページ <https://www.tipton.co.jp>
 E-mail sales-department@tipton.co.jp

●お問い合わせ先